

新学長に伊藤 変革センター長

NEWS CIT

**2023
7.15**

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部

〒275-0016 千葉県習志野市津田沼

2丁目17番1号

TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 黄金井さんファイバレーザー研究で国際賞／赤城さん井澤さん生化学会支部で発表賞／新学部学科4月開設／令和6年度入試日程表
- 3面 吉田さん大澤さん県産品パッケージ新／村上研と環境科学研が環境月間に出展／黒澤上席研究員 Qiballで講演／ベスト・ティーチャー賞に中村助教／名誉教授に小峯氏
- 4、5面 令和4年度決算を承認／学生共済会予算、決算を承認
- 6面 令和5年度PPA総会開く、地区懇談会の会場一覧／出版案内

理事会、満場一致で 第14代・任期4年

故松井孝典学長の死去に伴い、本学は5月30日に開いた理事会で次期学長の選出について審議し、伊藤穰一評議員・変革センター長(57)＝写真＝の次期・第14代学長就任を満場一致で決定した。任期は令和5年7月1日から令和9年6月30日まで。



■伊藤学長略歴

デジタルアーキテクト、ベンチャーキャピタリスト、起業家、作家、学者として、主に社会とテクノロジーの変革に取り組む。

2011年から19年まで米マサチューセッツ工科大(MIT)メディアラボの所長を務めた。非営利団体クリエイティブコモンズの最高経営責任者のほか、ニューヨーク・タイムズ、ソニー、Mozilla財団、OSI、ICANN、電子フラインバシー情報センター(BPI)などの取締役を歴任。デジタルガレージ共同創業者 取締役Chief Architect、デジタル庁「デジタル社会構想会議」および「web3研究会」構成員、経済同友会「企業のDX推進委員会」委員長。

21年11月に本学変革センターのセンター長に就任。翌年1月に本学評議員となった。

学長選出は「千葉工業大学学長選出規程」に基づいて行われた。

3月28日開催の理事会で、故松井孝典学長の死去に伴う後任について、学長候補者選考委員会を設置して選考することを確認し、そののち委員会を立ち上げ、学長候補者の選考を諮問した。

5月20日、学長候補者選考委員会より学長選出規程第7条「委員会は、学長候補者の中から2名以内を決定し、理由を付して理事長に推薦するものとする」の規定に基づき、次期学長に伊藤穰一氏がふさわしいとして理事長に推薦した。

瀬戸熊理事長は5月30日の理事会で、寄附行為第19条第2項の規定により、令和5年7月1日付で伊藤穰一氏を千葉工業大学第14代学長に選任したいと諮り、理事会は満

場一致で伊藤穰一氏の学長就任を決定した。

■伊藤氏就任あいさつ

千葉工業大学学長に就任するにあたり、「建学の精神」を尊重し、その文化と伝統を守りなが

広告賞 連続受賞

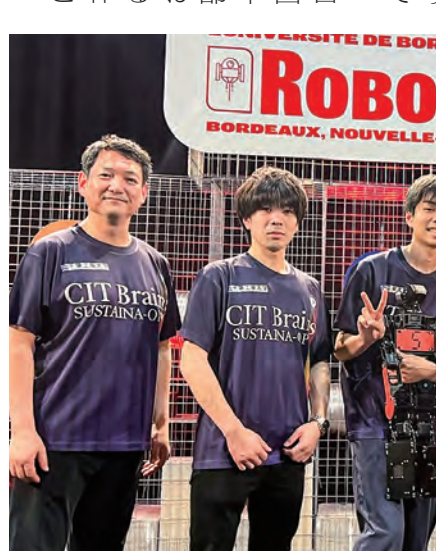
創立80周年広告 中日最優秀賞など

本学が昨年、創立80周年記念日に全国紙の朝刊に掲載した広告「写真」に掲載した広告「写真」が、第14回中日新聞社広告大賞の専門家による審査会の一般紙の部で最優秀賞を受賞した。

専門家審査員の中島祥文氏は「現在の科学技術



世界は急速に、良くない方向へ進んでいる。その真ん中に科学技術が存在していることは、否定のできない事実である。最先端の技術が、他国の軍事力を増強するため利用される。命を救うための研究が兵器に応用され、いとも簡単に人命を奪う。戦争によって、技術革新は進んでゆく。その悪逆に我々は苦しみ続けてきた。しかし、科学者たちは、世界にすべての技術は人間を幸福にするため生まれ、世界に平和をもたらすためにのみ生かされるべきだと。 千葉工業大学 創立80周年を記念して



CIT Brains 準優勝

ロボカップ'23フランス大会

自律型ロボットの「ロボカップ2023」世界大会は7月4～10日、フランス南西部ボルドーのエキシビジョンセンターに45カ国2500人が参加して開かれ、サッカー・ヒューマノイドリーグ・キッドサイズ部門で千葉工大「CIT Brains」チームが準優勝した。昨年に続く連覇は逃した。

混合競技のドロップイン部門では2位、性能を競うテクニカルチャレンジでは3位に入賞した。8月5日のオープンキャンパス(新習志野校舎)で世界大会の報告会を開く予定。(詳細は次号で)

大学は、この重要な問題と技術者のさらなる社会

的地位向上に貢献できると確信しています。

～2024. 3

2024. 4～

情報科学部

情報工学科

情報ネットワーク学科

社会システム科学部

経営情報科学科

プロジェクトマネジメント学科

金融・経営リスク科学科

情報変革科学部

情報工学科

認知情報科学科

高度応用情報科学科

未来変革科学部

デジタル変革科学科

経営デザイン科学科



「変革」2学部 来春から

本学は来年4月、現行の情報科学部2学科と社会システム科学部3学科を改組し新たに「情報変革科学部」「未来変革科学部」の2学部5学科とし、既存の工学部、創造工学部、先進工学部と合わせ5学部17学科でスタートする。

研究分野として比較的歴史の浅かった情報・社会科学分野で本学は早くからその可能性に着目し、日本初の情報ネットワーク分野の学科を1997年に開設。以来、IT分野の知識・技術の広がりとは歩調を合わせて種々のアプリケーションや情報伝達媒体を開発・提供し、社会の利便性向上に寄与してきた。しかし、科学技術の進展とともに学術、ビジネス、行政、文化など、社会システム間の連動性は複雑化を増している。

今回「変革」と冠した新学部では、単なるIT技術者でなく、社会の向上へ新プラットフォームや文化的アウトプットを設計・構築できる人材の育成を狙っている。

【情報変革科学部】 情報工学科・認知情報科学科・高度応用情報科学科 最先端のサイバーフィジカル社会を支える情報工学の基盤技術や応用技術について、ハードとソフトの両ウェアからアプローチし、変化の激しい世界でICT(情報通信技術)を設計・開発できる人材を育成する。

【未来変革科学部】 デジタル変革科学科・経営デザイン科学科 複雑な数理的思考やデータサイエンスのスキルが求められる経営工学や社会デザイン分野で、今や不可欠となった情報処理テクノロジーを有機的に活用し、DX化を推進できる実践力・即戦力を持った人材を育成する。



ミュンヘンでの授賞式で黄金井さん(中央)

光学・フォトリソグラフィーに貢献した大学院生たちを欧州物理学会の関連委員会が表彰する2023 EPS-QEODトラベルグラント学生賞は6月27日、独ミュンヘンの新ミュンヘン国際見本市会場で授賞式があり、黄金井彩花さん(電気電子工学専攻修士2年、藤本靖研究室)の「Yellow (575nm) Laser by single-mode double-clad structured Dy3+-doped waterproof fluoro-aluminate glass fiber (シングルモードダブルクラッド構造のフッ素ドープ耐水性フッ化物ファイバを用いた黄色レーザー)」に学生賞が贈られた。

論文は、フォトリソグラフィーの研究者やエンジニアが集まり2年に1度ミュンヘンで開かれる国際会議 CLEO@Europe (CLEO2023)で口頭発表したもので、「高ビーム高出力の黄色ファイバレーザーを達成するための重要な知識を提供し、医療、加工、ディスプレイなどへの応用が期待されるキートンロジーの一つ」と評価された。

赤城紫音さん(生化学会支部で発表賞)「ヒトアルツハイマー病モデルマウスにおけるポリアミン代謝プロファイルの検討」

教育センター化学教室の南澤研究室では、アルツハイマー病(AD)の根底にある細菌叢座(BT)という新規病態を解明中。ADモデルマウスの脳を観察した結果、高

ファイバレーザー研究で国際賞

黄金井さん ▼ドイツで授賞式

アルツハイマー抑制に挑む

赤城さん 井澤さん ▼生化学会支部で発表賞

赤城さんらは、健康な細胞の生存に関わるポリアミンという物質がADマウスの臓器でどんな作用を及ぼしているかを経時観察し、リモノイドとアルギニンの食餌による、DNA及びRNAに関するエピジェネティクス(DNAの配列変化にすぎない遺伝子発現制御

の機構を研究中だ。「大変光栄で、南澤先生腸内細菌叢を豊かに維持

ADの進行抑制には、

「受賞できて光栄です。南澤先生、坂本先生、研究室仲間へ感謝しています。今後も精進してまいります」

令和6(2024)年度 千葉工業大学入学試験日程

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
総合型(デジタルイノベーター発掘)選抜 [書類審査・課題演習・面接]	9/14(木)～9/29(金)(消印有効)	10/15(日)	11/ 1 (水)
総合型(創造)選抜 [書類審査・課題演習・面接]		10/21(土) 22(日)	
学校推薦型選抜(公募制) [書類審査・読解力テスト・面接]	11/1(水)～11/8(水)(消印有効)	11/26(日)	12/ 1 (金)
学校推薦型選抜(専門高校) [書類審査・読解力テスト・面接]			
学校推薦型選抜(指定校制) 【一般高校・専門高校】 [書類審査・小論文・面接]	11/1(水)～11/8(水)(消印有効)	11/19(日)	12/ 1 (金)
学校推薦型選抜(帰国生徒指定校制) [書類審査・小論文・面接]	10/23(月)～11/8(水)(消印有効)		
特別選抜(帰国生徒) [書類審査・小論文・面接]	10/23(月)～11/8(水)(消印有効)	11/25(土)	12/ 1 (金)
特別選抜(社会人) [書類審査・小論文・面接]			
特別選抜(外国人留学生) [書類審査・面接・日本留学試験結果]	9/25(月)～10/5(木)(必着)	11/25(土)	12/ 1 (金)
編入学選抜 [書類審査・小論文・面接]3年次受入れ	9/25(月)～10/5(木)(必着)	11/25(土)	12/ 1 (金)
編入学選抜(指定校制・高等専門学校) [書類審査・面接]3年次受入れ	9/25(月)～10/5(木)(必着)		

【一般選抜】大学入学共通テスト利用入学試験・大学独自入学試験

試験種別	願書受付期間	試験日	合格発表日
大学入学共通テスト利用入学試験【前期】 (全学部・全学科入試)	12/ 21(木)～1/12(金)(消印有効)	1/13(土) 14(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/ 9 (金)
大学入学共通テスト利用入学試験【中期】 (全学部・全学科入試)	2/ 6 (火)～2/16(金)(消印有効)	1/13(土) 14(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	2/22(木)
大学入学共通テスト利用入学試験【後期】 (全学部・全学科入試)	2/20(火)～3/ 4 (月)(消印有効)	1/13(土) 14(日) 大学入学共通テスト (本学個別試験なし)	3/ 8 (金)
大学独自入学試験A日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))	12/21(木)～1/31(水)(消印有効)	2/ 1 (木) 2 (金) 3 (土) 4 (日)	2/ 9 (金)
大学独自入学試験SA日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))			
大学独自入学試験B日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))	2/ 6 (火)～2/16(金)(消印有効))	2/17(土) 18(日)	2/22(木)
大学独自入学試験SB日程入学試験 (試験日自由選択方式、 全学部・全学科入試(同日併願方式))			
大学独自入学試験C日程入学試験 (全学部・全学科入試(同日併願方式))	2/20(火)～3/ 4 (月)(消印有効)	3/ 5 (火)	3/ 8 (金)

県特産「なし」出荷箱 吟醸酒ラベルを一新

吉田さん大澤さん ▼JAいちかわ依頼



お披露目会で吉田さん(左)と今野組合長



感謝状を手に大澤さん。下はデザインした吟醸酒のラベル



デザイン科学専攻修士2年、長尾徹研究室に感謝状が贈られた。今年1月、設立60周年を迎えたJAいちかわ(市川市農協)が、記念企画としてブランド力を高めようと、2年前から本

たので、版画のテイストで重量感を表し、梨を食べたときのみずみずしさを表現しました。長く愛されてほしい。吟醸酒ラベルを担当した大澤さんは「値段が5千円と高価なので高級感を狙い、県産「粒盛」米にも記載して地域が盛えるようお願いしました。」「粒盛」の文字は今野博之JAいちかわ組合長が書いた。なしは7月下旬から出荷し、ギフト用などで新しい箱が使われる。



などを「研究者の視線から説明した。参加者からの質問では弾丸衝突装置(SCI)で形成されたクレターの大きさについてや、自身の研究で今この部分が「最も尖っているか」など突っ込んだ質問があつて驚いたという。終了後のアンケートで参加者の約8割が「非常



名誉教授に小峯氏

今年3月に退職した元建築学科教授の小峯裕己氏(写真)に、4月25日

付で千葉工業大学名誉教授の称号が授与された。小峯氏は1988(昭和63)年に助教として本学に就任。以来、35年にわたり本学で教鞭をとり、学術の向上に寄与した。専門は温熱・空気環境など。

研究者がみたりゅうぐウ探査

黒澤上席研究員 ▼Q&Aで講演

千葉市科学館(千葉市中央区)主催の「大人の楽しむ科学教室」が6月4日、同館で開かれ、惑星探査研究センター(PE

科学館の「iQ&A」(キボール)10階の会場で、隕石標本やりゅうぐウ粒子の模型を机に並べ、PC画面とマイクで、はるばる2開発の話▽近傍観測の成果▽試料分析チームがどう準備を進めてきたか▽普段どんなことを考えて研究しているのか

環境月間に出展、交流

村上研と環境科学研 ▼水を、生物を守る

水環境の生態系保全をテーマとする生命科学科・村上和仁教授の分子生態学研究室は「環境月間」の6月、3つのイベントに調査成果を出展。文化会館の環境科学研究会(田中緑部長)先端材料工学科3年、部員25人も活動ぶりを発信した。

村上研は荒川河口干潟、東京湾沿岸、谷津干潟流入河川などのシジミや珪藻、底生生物の成育、マイクロプラスティック摂取状況などを広範に調査。房総半島におけるマクロベントス(BMWPスコア



江戸川区環境フェアで村上研

今年のは谷津干潟フムサール条約登録30周年。村上研は、展示ブースに谷津干潟の環境保全に関する調査研究パネル(腐敗アオサ溶出液・腐敗底泥間隙水の水質毒性評価、東京湾沿岸域のマイクロプラスチック検出状況と二枚貝の体内蓄積、アサリ・ホンビノスの水質浄化機能など)を展示。来場者参加型の水環境健全



安全な水を、と環境科学研

性指標調査も実施し、市民目線で環境を評価した。津田沼高校関係者やNPOなど多くの参加者と交流した。谷津干潟自然観察センターで開催。47団体2500人が来場。海洋プラスチックや地球温暖化、SDGs、食品ロス削減への取り組みが紹介された。晴天。下、本学からは環境科学研と村上研が出展交換ができたという。

ベスト・ティーチャー賞に中村助教

令和4年度後期グッド・レクチャー賞に教員17人が選ばれ、写真、その中から教育センターの中村達助教が同年度ベスト・ティーチャー賞に決まり、6月8日の受賞式で表彰された。



ボティクス学科の米田完教授、建築学科の石原沙織教授、教育センターの佐藤和教授、市川洋子助教の講義。今年度後期受賞者は次の通り(順不同)。

▼ベスト・ティーチャー賞II教育センター・中村達助教

▼グッド・レクチャー賞II機械工学科・熱海武憲教授、電気電子工学科・山崎克己教授、先端材料工学科・小山和也教授、都市環境工学科・内海秀幸教授、橋本紳一准教授、未来ロボティクス学科・大川茂樹教授、知能メディア工学科・森信一郎教授、プロジェクトマネジメント学科・田限広紀准教授、金融・経営リクス学科・角田仁教授、教育センター・横山利章教授、引原有輝教授、東山幸司教授、畑誠之介准教授、中村達助教、木島愛教授、須藤敦教授、高松佑介助教

事業活動収支計算書					
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで					
(単位：円)					
教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
		学生生徒等納付金	14,810,000,000	14,909,548,030	△99,548,030
		手数料	245,000,000	251,647,357	△6,647,357
		寄付金	284,500,000	298,137,822	△13,637,822
		経常費等補助金	1,072,300,000	1,077,854,145	△5,554,145
		付随事業収入	662,200,000	666,308,449	△4,108,449
		雑収入	324,100,000	406,991,004	△82,891,004
		教育活動収入計	17,398,100,000	17,610,486,807	△212,386,807
	事業活動支出の部	人件費	7,592,400,000	7,580,223,650	12,176,350
		教育研究経費	7,552,900,000	7,269,290,067	283,609,933
		管理経費	1,976,800,000	1,936,133,066	40,666,934
		徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計		17,122,100,000	16,785,646,783	336,453,217	
教育活動収支差額		276,000,000	824,840,024	△548,840,024	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	558,000,000	569,289,411	△11,289,411
		その他の教育活動外収入	0	11,040	△11,040
		教育活動外収入計	558,000,000	569,300,451	△11,300,451
	支出の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	558,000,000	569,300,451	△11,300,451		
経常収支差額		834,000,000	1,394,140,475	△560,140,475	
特別収支	収入の部	資産売却差額	22,600,000	22,651,729	△51,729
		その他の特別収入	111,400,000	121,928,132	△10,528,132
		特別収入計	134,000,000	144,579,861	△10,579,861
	支出の部	資産処分差額	8,000,000	7,966,422	33,578
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	8,000,000	7,966,422	33,578
特別収支差額	126,000,000	136,613,439	△10,613,439		
基本金組入前当年度収支差額(予備含む)		960,000,000	1,530,753,914	△570,753,914	
基本金組入額合計		△14,900,000	△4,883,835	△10,016,165	
当年度収支差額		945,100,000	1,525,870,079	△580,770,079	
前年度繰越収支差額		△2,840,800,000	△2,840,806,234	6,234	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		△1,895,700,000	△1,314,936,155	△580,763,845	
(参考)					
事業活動収入計		18,090,100,000	18,324,367,119	△ 234,267,119	
事業活動支出計		17,130,100,000	16,793,613,205	336,486,795	

貸借対照表

令和5年3月31日				
(単位：円)				
資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	109,542,836,756	111,044,592,277	△1,501,755,521	
有形固定資産	60,452,412,336	62,196,272,355	△1,743,860,019	
土地	9,343,367,496	9,343,367,496	0	
建物	44,396,865,755	44,722,722,041	△325,856,286	
構築物	2,255,645,618	2,505,054,024	△249,408,406	
教育研究用機器備品	2,444,601,646	2,439,294,843	5,306,803	
管理用機器備品	103,719,941	198,119,858	△94,399,917	
図書	1,846,563,153	1,834,627,550	11,935,603	
車両	61,648,727	74,949,543	△13,300,816	
建設仮勘定	0	1,078,137,000	△1,078,137,000	
特定資産	45,454,232,070	45,783,632,267	△329,400,197	
第2号基本金引当特定資産	3,354,232,070	3,880,275,470	△526,043,400	
第3号基本金引当特定資産	10,000,000,000	10,000,000,000	0	
退職給与引当特定資産	3,000,000,000	3,000,000,000	0	
減価償却引当特定資産	29,000,000,000	28,500,000,000	500,000,000	
国際交流支援基金引当特定資産	100,000,000	100,000,000	0	
PCB処理引当特定資産	0	303,356,797	△303,356,797	
その他の固定資産	3,636,192,350	3,064,687,655	571,504,695	
ソフトウェア	170,382,740	183,051,000	△12,668,260	
長期貸付金	309,789,746	298,102,375	11,687,371	
差入保証金	3,000,000	3,000,000	0	
敷金	54,749,760	54,749,760	0	
投資有価証券	3,098,108,434	2,525,622,850	572,485,584	
預託金	161,670	161,670	0	
流動資産	16,791,570,917	15,634,256,629	1,157,314,288	
現金預金	16,324,182,541	15,081,672,688	1,242,509,853	
未収入金	376,845,378	475,887,732	△99,042,354	
前払金	90,542,998	76,696,209	13,846,789	
資産の部合計	126,334,407,673	126,678,848,906	△344,441,233	

負債の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	3,243,104,399	3,227,013,149	16,091,250	
退職給与引当金	3,243,104,399	3,227,013,149	16,091,250	
流動負債	4,741,948,313	6,633,234,710	△1,891,286,397	
前受金	3,837,178,522	5,763,894,270	△1,926,715,748	
未払金他	904,769,791	869,340,440	35,429,351	
負債の部合計	7,985,052,712	9,860,247,859	△1,875,195,147	
純資産の部				
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
基本金	119,664,291,116	119,659,407,281	4,883,835	
第1号基本金	105,318,059,046	104,787,131,811	530,927,235	
第2号基本金	3,354,232,070	3,880,275,470	△526,043,400	
第3号基本金	10,000,000,000	10,000,000,000	0	
第4号基本金	992,000,000	992,000,000	0	
繰越収支差額	△1,314,936,155	△2,840,806,234	1,525,870,079	
翌年度繰越収支差額	△1,314,936,155	△2,840,806,234	1,525,870,079	
純資産の部合計	118,349,354,961	116,818,601,047	1,530,753,914	
負債及び純資産の部合計	126,334,407,673	126,678,848,906	△344,441,233	

- ① 学生相談(カウンセリグ、学生SA) 女性カウンセラーの配置
- ② 学生自治活動支援の充実(大学創立80周年記念企画)
- ③ 学生寮生に対する支援
- ④ 奨学金支援活動
- ⑤ 障がい学生・グレーゾーン学生支援の充実
- ② 学生の派遣及び受け入れ体制の充実
- ① 留学生への支援の充実(コロナ禍の未入国対応者対応を含む)
- ② 海外語学研修・インターンシッププログラムの拡充
- ③ 留学生と本学学生との交流プログラムの充実
- ④ 海外協定大学からの留学生受入促進
- ⑤ 各国政府機関や提携地方自治体との国際化に関する連携
- ⑥ 在籍管理等の強化
- ⑦ 日本人学生との交流
- ③ 学生共済会の充実
- ① 見舞金給付
- ② 学生納付金貸与制度
- ③ こころからだの元気サポート
- ④ 暮らしの法律相談
- ⑤ 損害賠償保険
- ⑥ 備蓄食の購入
- ⑦ 健康サポート制度(インフルエンザ予防接種補助等)
- ④ 学生の学習・教育支援に必要な図書館資料の充実
- ⑤ 電子書籍等の学術情報資源の整備強化
- ⑥ 学生及び地域・社会への図書館サービス向上
- 4 施設整備関係
- ① 9号館(新実験棟)新築工事、土木建築実験室解体
- ② 津田沼講義室AⅤ設備更新
- ③ 新習志野1号館1102

学校法人千葉工業大学の令和4年度決算が、5月30日の理事会・評議員会で承認された。

(4年度事業報告の全文は本学ウェブサイトで公開中)

1 教育研究活動

(1)入学試験関係

令和5(2023)年度の入学試験における学部入試の総志願者数は14万6683人(前年度14万528人、前年度比4%増)と、6年連続で増加する結果となった。

(2)初年次教育の充実と総合的なサポート体制

(3)習熟度別教育の充実

(4)学修成果の可視化に向けた取り組み

- (5)1200分授業導入における教育効果の継続的検証
- (6)教養基礎教育カリキュラムの充実
- (7)学生の満足度向上へ向けた対策の充実・強化
- (8)教職協働による就職支援
- (9)コロナ禍における就職支援の強化
- (10)質の高い進路の実現に向けた支援
- (11)大学院進学率向上へ向けた取り組み
- (12)大学院工学研究科改編における

- (1)国または地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援
- (2)民間からの奨学寄付金及び受託研究費
- (3)研究助成関係
- ①特許出願
- ②特許
- ③附属研究所
- (4)未来ロボット技術研究センター(fuRo)
- ①外部からの資金獲得

- (5)感星探索研究センター(perc)
- (6)感星探索研究センター(perc)
- (7)感星探索研究センター(perc)
- (8)感星探索研究センター(perc)
- (9)感星探索研究センター(perc)
- (10)感星探索研究センター(perc)
- (11)感星探索研究センター(perc)
- (12)感星探索研究センター(perc)
- (13)感星探索研究センター(perc)
- (14)感星探索研究センター(perc)
- (15)感星探索研究センター(perc)
- (16)感星探索研究センター(perc)
- (17)感星探索研究センター(perc)
- (18)感星探索研究センター(perc)
- (19)感星探索研究センター(perc)
- (20)感星探索研究センター(perc)
- (21)感星探索研究センター(perc)
- (22)感星探索研究センター(perc)
- (23)感星探索研究センター(perc)
- (24)感星探索研究センター(perc)
- (25)感星探索研究センター(perc)
- (26)感星探索研究センター(perc)
- (27)感星探索研究センター(perc)
- (28)感星探索研究センター(perc)
- (29)感星探索研究センター(perc)
- (30)感星探索研究センター(perc)
- (31)感星探索研究センター(perc)
- (32)感星探索研究センター(perc)
- (33)感星探索研究センター(perc)
- (34)感星探索研究センター(perc)
- (35)感星探索研究センター(perc)
- (36)感星探索研究センター(perc)
- (37)感星探索研究センター(perc)
- (38)感星探索研究センター(perc)
- (39)感星探索研究センター(perc)
- (40)感星探索研究センター(perc)
- (41)感星探索研究センター(perc)
- (42)感星探索研究センター(perc)
- (43)感星探索研究センター(perc)
- (44)感星探索研究センター(perc)
- (45)感星探索研究センター(perc)
- (46)感星探索研究センター(perc)
- (47)感星探索研究センター(perc)
- (48)感星探索研究センター(perc)
- (49)感星探索研究センター(perc)
- (50)感星探索研究センター(perc)
- (51)感星探索研究センター(perc)
- (52)感星探索研究センター(perc)
- (53)感星探索研究センター(perc)
- (54)感星探索研究センター(perc)
- (55)感星探索研究センター(perc)
- (56)感星探索研究センター(perc)
- (57)感星探索研究センター(perc)
- (58)感星探索研究センター(perc)
- (59)感星探索研究センター(perc)
- (60)感星探索研究センター(perc)
- (61)感星探索研究センター(perc)
- (62)感星探索研究センター(perc)
- (63)感星探索研究センター(perc)
- (64)感星探索研究センター(perc)
- (65)感星探索研究センター(perc)
- (66)感星探索研究センター(perc)
- (67)感星探索研究センター(perc)
- (68)感星探索研究センター(perc)
- (69)感星探索研究センター(perc)
- (70)感星探索研究センター(perc)
- (71)感星探索研究センター(perc)
- (72)感星探索研究センター(perc)
- (73)感星探索研究センター(perc)
- (74)感星探索研究センター(perc)
- (75)感星探索研究センター(perc)
- (76)感星探索研究センター(perc)
- (77)感星探索研究センター(perc)
- (78)感星探索研究センター(perc)
- (79)感星探索研究センター(perc)
- (80)感星探索研究センター(perc)
- (81)感星探索研究センター(perc)
- (82)感星探索研究センター(perc)
- (83)感星探索研究センター(perc)
- (84)感星探索研究センター(perc)
- (85)感星探索研究センター(perc)
- (86)感星探索研究センター(perc)
- (87)感星探索研究センター(perc)
- (88)感星探索研究センター(perc)
- (89)感星探索研究センター(perc)
- (90)感星探索研究センター(perc)
- (91)感星探索研究センター(perc)
- (92)感星探索研究センター(perc)
- (93)感星探索研究センター(perc)
- (94)感星探索研究センター(perc)
- (95)感星探索研究センター(perc)
- (96)感星探索研究センター(perc)
- (97)感星探索研究センター(perc)
- (98)感星探索研究センター(perc)
- (99)感星探索研究センター(perc)
- (100)感星探索研究センター(perc)

- (1)国または地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援
- (2)民間からの奨学寄付金及び受託研究費
- (3)研究助成関係
- ①特許出願
- ②特許
- ③附属研究所
- (4)未来ロボット技術研究センター(fuRo)
- ①外部からの資金獲得

- (5)感星探索研究センター(perc)
- (6)感星探索研究センター(perc)
- (7)感星探索研究センター(perc)
- (8)感星探索研究センター(perc)
- (9)感星探索研究センター(perc)
- (10)感星探索研究センター(perc)
- (11)感星探索研究センター(perc)
- (12)感星探索研究センター(perc)
- (13)感星探索研究センター(perc)
- (14)感星探索研究センター(perc)
- (15)感星探索研究センター(perc)
- (16)感星探索研究センター(perc)
- (17)感星探索研究センター(perc)
- (18)感星探索研究センター(perc)
- (19)感星探索研究センター(perc)
- (20)感星探索研究センター(perc)
- (21)感星探索研究センター(perc)
- (22)感星探索研究センター(perc)
- (23)感星探索研究センター(perc)
- (24)感星探索研究センター(perc)
- (25)感星探索研究センター(perc)
- (26)感星探索研究センター(perc)
- (27)感星探索研究センター(perc)
- (28)感星探索研究センター(perc)
- (29)感星探索研究センター(perc)
- (30)感星探索研究センター(perc)
- (31)感星探索研究センター(perc)
- (32)感星探索研究センター(perc)
- (33)感星探索研究センター(perc)
- (34)感星探索研究センター(perc)
- (35)感星探索研究センター(perc)
- (36)感星探索研究センター(perc)
- (37)感星探索研究センター(perc)
- (38)感星探索研究センター(perc)
- (39)感星探索研究センター(perc)
- (40)感星探索研究センター(perc)
- (41)感星探索研究センター(perc)
- (42)感星探索研究センター(perc)
- (43)感星探索研究センター(perc)
- (44)感星探索研究センター(perc)
- (45)感星探索研究センター(perc)
- (46)感星探索研究センター(perc)
- (47)感星探索研究センター(perc)
- (48)感星探索研究センター(perc)
- (49)感星探索研究センター(perc)
- (50)感星探索研究センター(perc)
- (51)感星探索研究センター(perc)
- (52)感星探索研究センター(perc)
- (53)感星探索研究センター(perc)
- (54)感星探索研究センター(perc)
- (55)感星探索研究センター(perc)
- (56)感星探索研究センター(perc)
- (57)感星探索研究センター(perc)
- (58)感星探索研究センター(perc)
- (59)感星探索研究センター(perc)
- (60)感星探索研究センター(perc)
- (61)感星探索研究センター(perc)
- (62)感星探索研究センター(perc)
- (63)感星探索研究センター(perc)
- (64)感星探索研究センター(perc)
- (65)感星探索研究センター(perc)
- (66)感星探索研究センター(perc)
- (67)感星探索研究センター(perc)
- (68)感星探索研究センター(perc)
- (69)感星探索研究センター(perc)
- (70)感星探索研究センター(perc)
- (71)感星探索研究センター(perc)
- (72)感星探索研究センター(perc)
- (73)感星探索研究センター(perc)
- (74)感星探索研究センター(perc)
- (75)感星探索研究センター(perc)
- (76)感星探索研究センター(perc)
- (77)感星探索研究センター(perc)
- (78)感星探索研究センター(perc)
- (79)感星探索研究センター(perc)
- (80)感星探索研究センター(perc)
- (81)感星探索研究センター(perc)
- (82)感星探索研究センター(perc)
- (83)感星探索研究センター(perc)
- (84)感星探索研究センター(perc)
- (85)感星探索研究センター(perc)
- (86)感星探索研究センター(perc)
- (87)感星探索研究センター(perc)
- (88)感星探索研究センター(perc)
- (89)感星探索研究センター(perc)
- (90)感星探索研究センター(perc)
- (91)感星探索研究センター(perc)
- (92)感星探索研究センター(perc)
- (93)感星探索研究センター(perc)
- (94)感星探索研究センター(perc)
- (95)感星探索研究センター(perc)
- (96)感星探索研究センター(perc)
- (97)感星探索研究センター(perc)
- (98)感星探索研究センター(perc)
- (99)感星探索研究センター(perc)
- (100)感星探索研究センター(perc)

- (1)国または地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援
- (2)民間からの奨学寄付金及び受託研究費
- (3)研究助成関係
- ①特許出願
- ②特許
- ③附属研究所
- (4)未来ロボット技術研究センター(fuRo)
- ①外部からの資金獲得

- (5)感星探索研究センター(perc)
- (6)感星探索研究センター(perc)
- (7)感星探索研究センター(perc)
- (8)感星探索研究センター(perc)
- (9)感星探索研究センター(perc)
- (10)感星探索研究センター(perc)
- (11)感星探索研究センター(perc)
- (12)感星探索研究センター(perc)
- (13)感星探索研究センター(perc)
- (14)感星探索研究センター(perc)
- (15)感星探索研究センター(perc)
- (16)感星探索研究センター(perc)
- (17)感星探索研究センター(perc)
- (18)感星探索研究センター(perc)
- (19)感星探索研究センター(perc)
- (20)感星探索研究センター(perc)
- (21)感星探索研究センター(perc)
- (22)感星探索研究センター(perc)
- (23)感星探索研究センター(perc)
- (24)感星探索研究センター(perc)
- (25)感星探索研究センター(perc)
- (26)感星探索研究センター(perc)
- (27)感星探索研究センター(perc)
- (28)感星探索研究センター(perc)
- (29)感星探索研究センター(perc)
- (30)感星探索研究センター(perc)
- (31)感星探索研究センター(perc)
- (32)感星探索研究センター(perc)
- (33)感星探索研究センター(perc)
- (34)感星探索研究センター(perc)
- (35)感星探索研究センター(perc)
- (36)感星探索研究センター(perc)
- (37)感星探索研究センター(perc)
- (38)感星探索研究センター(perc)
- (39)感星探索研究センター(perc)
- (40)感星探索研究センター(perc)
- (41)感星探索研究センター(perc)
- (42)感星探索研究センター(perc)
- (43)感星探索研究センター(perc)
- (44)感星探索研究センター(perc)
- (45)感星探索研究センター(perc)
- (46)感星探索研究センター(perc)
- (47)感星探索研究センター(perc)
- (48)感星探索研究センター(perc)
- (49)感星探索研究センター(perc)
- (50)感星探索研究センター(perc)
- (51)感星探索研究センター(perc)
- (52)感星探索研究センター(perc)
- (53)感星探索研究センター(perc)
- (54)感星探索研究センター(perc)
- (55)感星探索研究センター(perc)
- (56)感星探索研究センター(perc)
- (57)感星探索研究センター(perc)
- (58)感星探索研究センター(perc)
- (59)感星探索研究センター(perc)
- (60)感星探索研究センター(perc)
- (61)感星探索研究センター(perc)
- (62)感星探索研究センター(perc)
- (63)感星探索研究センター(perc)
- (64)感星探索研究センター(perc)
- (65)感星探索研究センター(perc)
- (66)感星探索研究センター(perc)
- (67)感星探索研究センター(perc)
- (68)感星探索研究センター(perc)
- (69)感星探索研究センター(perc)
- (70)感星探索研究センター(perc)
- (71)感星探索研究センター(perc)
- (72)感星探索研究センター(perc)
- (73)感星探索研究センター(perc)
- (74)感星探索研究センター(perc)
- (75)感星探索研究センター(perc)
- (76)感星探索研究センター(perc)
- (77)感星探索研究センター(perc)
- (78)感星探索研究センター(perc)
- (79)感星探索研究センター(perc)
- (80)感星探索研究センター(perc)
- (81)感星探索研究センター(perc)
- (82)感星探索研究センター(perc)
- (83)感星探索研究センター(perc)
- (84)感星探索研究センター(perc)
- (85)感星探索研究センター(perc)
- (86)感星探索研究センター(perc)
- (87)感星探索研究センター(perc)
- (88)感星探索研究センター(perc)
- (89)感星探索研究センター(perc)
- (90)感星探索研究センター(perc)
- (91)感星探索研究センター(perc)
- (92)感星探索研究センター(perc)
- (93)感星探索研究センター(perc)
- (94)感星探索研究センター(perc)
- (95)感星探索研究センター(perc)
- (96)感星探索研究センター(perc)
- (97)感星探索研究センター(perc)
- (98)感星探索研究センター(perc)
- (99)感星探索研究センター(perc)
- (100)感星探索研究センター(perc)



教育環境の充実や全国2位の志願者数、9割を超える就職率などで「千葉工大」ブランドが注目される中、令和5年度のPPA総会が6月24日、新習志野キャンパス体育館で開かれた。

新型コロナウイルスに伴う規制が緩和され、4年ぶりの対面開催に、保護者ら497人（ほかに委任状394人）が出席し写真右下。会場は父母たちが熱心にメモをとるなど静かな熱気に包まれた。

開会後あいさつに立った瀬尾千里会長（同左）は「PPAは昭和24年11

今「狭き門に優秀な学生」

5年度PPA総会開く ▶ 躍進ぶり説明



月に設立され、来年度に75周年を迎える。保護者と教職員が協力し、他大学では例をみない組織」と、学生の修学環境や課外活動の充実と援助、文

学生ばかりで、大変誇らしく思っている」と強調。惑星探査や未来ロボット技術などの成果に加え、日本初のアンチディスプリナリー（脱専門性研究施設「変革センター」を含めた教育・研究環境の充実によって「いかに本学の学生がさまざまな企

業から求められているのか理解できる」とアピールした。

引き続き、松井孝典学長の逝去で職務代行を務めた佐波孝彦副学長は「3年にわたるコロナ禍での自粛生活は、社会生活に大きな変化をもたらした。リモートだけで仕

事をするには「長一短あるかと思うが、世界中どこにいても高度な仕事ができることを意味する。今後は、答えのない問いに対して自分なりの考えを導き出す能力、今までにないものを構築する能力、今あるものを変えていく能力を持つこと

が必要だ」と訴えた。

議事は、令和4年度事業報告・決算報告・監査報告と5年度の事業計画・予算がいずれも全会一致で承認された。事業計画は、国際交流などをコロナ禍前の水準に回復させる学生奨学支援費の拡充が認められ、PPA地

区懇談会を別表の日程で開くことも決まった。

さらに5年度の役員と評議員を選任した。役員は次のとおり（敬称略）。

▽会長 瀬尾千里（末来ロボティクス学科3年の保護者）▽副会長 橋本淳（経営情報科学科2年の保護者）▽同 鈴木進（教育センター教授）▽監事 篠原善子（情報工学科3年の保護者）▽同 村上利幸（経営情報科学科准教授）

総会後は恒例の学科懇談会と個別面談が行われ、父母たちは各学科の教員と日頃の取り組みや子女の勉強ぶり、進路などについて話し合っていた。

また、総会に先立ってTDK（株）人事部採用課の遠藤浩紀課長が「エレクトロニクスメーカーでのキャリア形成と求める人材についてを講演した。

夏さが本格的に始まる七月になりました。この季節に津田沼に訪れる生き物と言えは椋鳥です。

津田沼に大量に現れる椋鳥は、三〜六月にかけて各地で繁殖した若鳥達を中心に、七月頃から集団になる習性を持っています。元々は農畜虫を食べる益鳥で、校内でも日中

に芝生で餌を食べる可愛らしい姿が見られますが、夕方になると豹変します。

郊外から群れが黒い塊となって駅前に飛来し、一万匹を超える数がぐらに集まります。猛禽類に襲われない街中で、風も防げるビルに囲まれた立地として津田沼は彼等

に選ばれた訳です。しかし椋鳥が校内に入り込む事は騒音や汚れの原因となる為、施設部で対策しており、鷹の置物や鳴き

小宮 覚



著者＝応用化学科の橋本和明教授、柴田裕史教授
発行＝三共出版
価格＝2860円（税込み）

セラミックス材料科学

セラミックスの可能性



橋本教授



柴田教授

イオセラミックスを専門とする橋本教授と、物質の界面デザインを追究する柴田教授が、理系の学生用に共著した。

固体化学の基礎をさらった後、▽セラミックスの特徴▽その構造▽製造方法▽高性能セラミックスについて▽生命科学と

セラミックス▽環境・資源としてのセラミックス▽その評価法――などを9項目に分けて、簡潔に説明。

環境を壊さず生かす材料としてのセラミックスを、学生たちに理解してほしいと願う。

160ページ。

千葉工業大学同窓会創立75周年記念祝賀会が令和5年6月3日（土）にJR錦糸町駅からほど近い東武ホテルレバント東京で開催された。私は当日、受付を担当した。その際に、先輩諸氏がお元気でいることもできることながら、全員が開催時間までに遅刻なく出席された

ことに、率直に言って驚かされた。本学での講義特に実験演習での出席に関する教育の賜物だろうかどと勘繰ってしまった。

当日、他の同窓生と共にこれまでの千葉工業大学の歴史を振り返り、また会場に飾られた各同窓会支部の名前が入った旗を見た。日本全国に広がる同窓生の多さに、改めて旧制大学としてスタートした本学の歴史の長さを実感した。

在学生にとっては同窓

藤田 茂

四季雑感



夏さが本格的に始まる七月になりました。この季節に津田沼に訪れる生き物と言えは椋鳥です。

津田沼に大量に現れる椋鳥は、三〜六月にかけて各地で繁殖した若鳥達を中心に、七月頃から集団になる習性を持っています。元々は農畜虫を食べる益鳥で、校内でも日中

に芝生で餌を食べる可愛らしい姿が見られますが、夕方になると豹変します。

郊外から群れが黒い塊となって駅前に飛来し、一万匹を超える数がぐらに集まります。猛禽類に襲われない街中で、風も防げるビルに囲まれた立地として津田沼は彼等

に選ばれた訳です。しかし椋鳥が校内に入り込む事は騒音や汚れの原因となる為、施設部で対策しており、鷹の置物や鳴き

小宮 覚

同窓会



千葉工業大学同窓会創立75周年記念祝賀会が令和5年6月3日（土）にJR錦糸町駅からほど近い東武ホテルレバント東京で開催された。私は当日、受付を担当した。その際に、先輩諸氏がお元気でいることもできることながら、全員が開催時間までに遅刻なく出席された

ことに、率直に言って驚かされた。本学での講義特に実験演習での出席に関する教育の賜物だろうかどと勘繰ってしまった。

当日、他の同窓生と共にこれまでの千葉工業大学の歴史を振り返り、また会場に飾られた各同窓会支部の名前が入った旗を見た。日本全国に広がる同窓生の多さに、改めて旧制大学としてスタートした本学の歴史の長さを実感した。

在学生にとっては同窓

藤田 茂

編集だより



さわやかな甘さ、みずみずしくてシャキシャキとした独特の食感が魅力の「なし」は、カロリーも低く、食後のデザートに最適な果物だ。

桃が世界一大好きといううちの部長に比べると、私の梨愛は、真夏にのどがカラカラでも冷た

いお茶よりは「なし」！お気に入りのカウチでゆったりくつろぐ次に「なし」と中途半端で申し訳ないが、それでも果物の中では上位を誇る好物といえる。

タイムリーなことに、千葉県特産「船橋のなし」のパッケージデザインを、本学の学生がデザインしたというニュースが！「既存の果物の箱ではあまり見られない方向性にまとめた実験的な

入試広報部

大橋 慶子